



埼玉西部消防組合 広報

(構成市:所沢市・飯能市・狭山市・入間市・日高市)

2月号

平成26年(2014年) 2月1日発行

埼玉西部消防局

SAITAMA SEIBU FIRE BUREAU



第42回全国消防救助技術大会



▲平成25年8月に広島県で開催された第42回全国消防救助技術指導会で当消防局チームが入賞しました。右下の写真は入賞した競技(種目:ロープブリッジ救出)の訓練風景。

特集 埼玉西部消防局の消防力 発足9ヶ月、同時に発隊した高度救助隊を 紹介します。(2ページ)



目次

- 全国消防救助技術指導会 1
- 埼玉西部消防局の消防力
高度救助隊の紹介 2
- 構成市の最新ニュース 3
- 大切な家族を守るために 4
住宅用火災警報器について
防災品の紹介
春の火災予防運動
- 埼玉西部消防組合議会 4

●災害件数 (平成25年中)

区分	火災	救急	救助
所沢市	86	15,166	182
飯能市	29	3,726	55
狭山市	46	6,492	65
入間市	45	5,811	76
日高市	31	2,241	29
管外	—	18	1
合計	237	33,454	408



隊員章



特集 埼玉西部 消防局の 消防力

高度救助隊を発隊しました！ 大規模災害に備えて・・・

平成25年4月1日に発足した埼玉西部消防局では、救助工作車を5台配備しており、そのうち所沢中央消防署の救助隊を高度救助隊として発隊しました。※災害の状況により構成5市全域が出動の対象となっております。

高度救助隊は、人命救助に関する専門的かつ高度な教育を受けた1隊(5名)×3部制、計15名で編成され、高度救助資機材等を備えた救助工作車Ⅲ型を運用し、より高度な人命救助をはじめ、NBC災害(N:原子力災害、B:毒劇物災害、C:化学災害)等の災害や、緊急消防援助隊の救助・特殊部隊に登録しており、他県で発生した大規模な災害にも出場します。高度救助隊は不測の事態に備え、日々訓練に励み消防局構成5市の79万市民の皆様の安全確保に努めてまいります。

高度救助隊とは・・・

阪神・淡路大震災や、新潟県中越地震、JR福知山線脱線事故、東日本大震災など、近年、大規模な災害が多発している状況から、全国的に救助体制の強化を図るため平成18年4月1日に「救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令及び救助活動に関する基準」の一部が改正され、中核市及び消防庁長官が指定する消防常備市町村には、従来の「救助隊」「特別救助隊」に加えて、より高度な知識、技術を有する「高度救助隊」を配置することと定められました。

保有している高度救助資機材

● 画像探索機



先端に取り付けられたCCDカメラと照明により生存者を検索する器具です。ガス・温度測定、空気の送気が可能です。

● 地中音響探知機



瓦礫等の中に埋まった人が発するわずかな音を探知することが可能です。

● 熱画像直視装置



熱をカメラを通して見る装置です。煙の中など肉眼では見えない状況でも人を探すことが可能です。

● 電磁波探査装置



呼吸等の微小な心肺の動きを電磁波で検知し、倒壊家屋や瓦礫下に閉じ込められた生存者を探すことが可能です。

訓練の様子



最新ニュース

発足後初めての出初式を開催
埼玉西部消防局・所沢市消防出初式(所沢市)

平成26年1月7日、晴天の所沢航空記念公園で消防出初式を開催しました。
この出初式には、埼玉西部消防局職員と所沢市消防団員の総勢約500名が参加し、式典後、徒列分列・車両行進、救助基本訓練、消防活動訓練、一斉放水などを披露しました。参観していただいた大勢の皆様のご声援ありがとうございました。

強化された消防力、
隊員の若い力とチームワーク、
一糸乱れぬ部隊行動などを披露しました



救助隊による救助基本訓練



消防局職員の徒列分列行進

山岳救助連携訓練(飯能市)

11月26日から28日までの3日間、飯能市の有間ダム周辺において、埼玉県防災航空隊及び秩父消防本部と連携強化を目的とした山岳救助連携訓練を実施しました。
訓練は情報共有と山岳地における救助技術の向上を目的とした想定訓練で、連携のとれた有効な活動訓練となりました。

近年ブームの
山登りに注意して
ください



火災予防の防火パレード実施(狭山市)

11月中に狭山市幼年消防クラブ各園(保育所)では、園児保護者延べ1266名が参加して実施しました。

これは、火災予防運動期間中に市民の皆様に対する火災予防思想の普及と幼年期における防火意識の高揚を図ることを目的に、揃いの防火法被を身にまとった子供たちが「火の用心のうた」に合わせ、パレードを実施したものです。

園児たちの
かわいい
法被姿が好評です



大規模演習訓練を実施(入間市)

平成25年度秋季全国火災予防運動の一環として、11月13日・入間市宮寺の三井アウトレットパーク入間に於いて大規模消防演習を実施しました。消防部隊の運用、事業所自衛消防隊と県防災航空隊等との連携による大規模施設火災における救出・防ぎよ活動が図られました。今回の演習訓練を通じて事業所及び関係機関との相互理解が深まり、連携をより強化する事が出来ました。

消防隊の
活動に拍手喝采



土砂災害を想定した訓練を実施(日高市)

9月7日、土砂災害(特別)警戒区域が位置する行政区を対象とした土砂災害訓練が高麗公民館で行われ、地域の自主防災組織、消防団員、消防署員、市職員など約150人が参加しました。AED(自動体外式除細動器)を使った救命講習や倒壊家屋からの救出など関係団体一体となった訓練となりました。

実戦に即した
実りのある訓練と
なりました



埼玉西部消防局陸上部



陸上部(小山幸一部長)は、部員29名で構成され、全国消防本部対抗駅伝での優勝を目指し「日本一速い消防隊」を合言葉に、日々練習に励んでいます。平成25年10月29日に県下15消防本部21チームの参加により行われた第11回埼玉県消防駅伝競走大会では、雨の降る悪天候の中において見事優勝し、2月に皇居で行われる第25回全国消防本部対抗駅伝での上位入賞が期待されています。皆様のお援をよろしくお願いたします。



大切な家族を守るために

◆大切な命を守るために住宅用火災警報器を設置してください。

奏功事例
1

感知場所：台所

居住者が台所のコンロで天ぷら油を調理中、コンロの火を付けたままその場を離れたため、時間の経過とともに白煙が発生。台所に設置していた住宅用火災警報器が作動。警報音に気づいた居住者が119番通報をし、火災には至らなかった。

奏功事例
2

感知場所：寝室

共同住宅の居住者が吸ったタバコの火種が寝具上に落下し時間の経過とともに出火。寝室に設置していた住宅用火災警報器が作動。居住者は外出していたが、警報音に気づいた上階の居住者が119番通報をし、消防隊が消火。布団の一部を焼損したがぼやで留まった。



※設置済みの火災警報器の電池切れにも注意しましょう。

しあわせを



明日につなぐ
火のしまつ

防災品をご存知ですか？

◆寝具や衣類、カーテンからの火災を防ぐために防災品を使用しましょう。

私たちは日頃住宅の中で燃えやすいものに囲まれて生活しています。日常の生活でのちょっとした不注意が原因となって、多くの火災が発生しています。

住宅火災による死者のうち、衣類や寝具類に着火した火災による死者は約2割です。その約7割が65歳以上の高齢者の方です。

もし、燃えにくい衣類や寝具などの防災品を活用していれば命を落とすことがなかったかもしれません。

防災性能を有する防災品は、火災の初期段階では、火災の発生を防止し、延焼拡大を抑制または阻止する効果があり、また、防災効果により火災の成長を抑制することで、初期消火や避難などの火災対応を行う貴重な時間的余裕をもたらします。

多くの可燃物とともに暮らしている家庭などの防火対策として、防災品の上手な活用をおすすめします。

自動車やオートバイのボディカバーも放火対策の効果があります。

- 事例1** 台所で調理中にガステーブルの火が着衣に着火し火傷をした。
着衣着火を防ぐために防災品のエプロンやアームカバーを使用しましょう。
- 事例2** 寝室の電気ストーブを点けたまま寝てしまい、布団の端が接触して火災となった。
- 事例3** 居間の電気ストーブにカーテンが接触して火災となった。
延焼を防ぐために防災品の寝具類やカーテンを使用しましょう。



★は住宅の居室に使用できる防災品



防災品には上のようなラベルが貼ってあります。

春の火災予防運動期間

平成26年
3月1日(土)から
3月7日(金)まで



消すまでは
心の警報
ONのまま

問い合わせ

- 所沢中央消防署 04-2929-9133
 - 所沢東消防署 04-2998-1192
 - 狭山消防署 04-2953-7113
 - 入間消防署 04-2962-7257
 - 飯能日高消防署 042-974-7221
- ※各署の予防指導課へ

埼玉西部消防組合議会が開催されました。

主な内容は以下のとおりです。また、次回の定例会の日程が決まりましたら、ホームページ等でお知らせいたします。



◆平成25年第1回定例会(7月30日)

条例2件、財産の取得6件、補正予算1件が審議され、いずれも原案可決となりました。財産の取得では、更新時期をむかえた老朽化の進んでいる救助工作車(1台)と消防ポンプ自動車(4台)や高規格救急車(3台)の更新を行います。

◆平成25年第2回臨時会(9月24日)

条例2件、補正予算1件が審議され、いずれも原案可決となりました。組合職員の給料の臨時特例に関する条例では、国の地方公務員の給与削減要請を踏まえ平成25年10月1日から平成26年3月31日まで給料の支給額を減額します。

組合議員名簿

議席番号	氏名	選出区分	備考
1	安田 義広	所沢市	議会運営委員会委員
2	末吉 美帆子	所沢市	
3	荒川 広	所沢市	議会運営委員会委員
4	町田 昌弘	狭山市	
5	小谷野 剛	狭山市	議会運営委員会委員長
6	栗原 武	狭山市	
7	浜野 好明	所沢市	
8	村上 浩	所沢市	
9	秋田 孝	所沢市	
10	齋藤 忠芳	日高市	議会運営委員会副委員長
11	石井 幸良	日高市	
12	加藤 由貴夫	飯能市	議会運営委員会委員
13	野田 直人	飯能市	副議長
14	向口 文恵	入間市	議会運営委員会委員
15	宮岡 治郎	入間市	
16	近藤 常雄	入間市	議長